

# 京都科学技術イノベーション創出地域

## 世界最高水準の最先端の知と独自技術を結集・融合した京都次世代エネルギーシステム創造戦略

### 総合調整機関

公益財団法人 京都高度技術研究所  
〒600-8813  
京都府京都市下京区中堂寺南町134番地  
TEL075-315-6603

### 参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…京都商工会議所、(公財) 京都工業会、京都府中小企業団体中央会
- 学…**京都大学**、**京都工芸繊維大学**、**同志社大学**
- 官…京都府、京都市、(公財) 京都産業21、(公財) **京都高度技術研究所**
- 金…京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫



### プロジェクトディレクター 向井 雅昭

略歴：昭和56年京都市職員採用。在職中16年間商工行政を担当。中小企業経営への参画を機に退職。平成21～25年京都環境ナノクラスター事務局長。経営学修士。

京都地域に蓄積された世界最高水準を誇る京都に立地する大学の最先端の研究シーズを基盤にして、独自技術をもつ企業との産学連携をコーディネートすることによって、エネルギー問題の解決を目標に、京都からイノベーションを起こし、エネルギー分野での研究開発、事業化を推進し、新時代の克服すべき課題に対するソリューションの創出につなげる。

## 地域イノベーション戦略

最先端の研究を行う大学や独自技術をもつ企業が集積する京都の強みを生かし、地域の有する世界最高水準の知と技術を結集・融合する。そして、基礎研究から事業化まで一貫してつなげる体制を構築することにより、全世界から研究者、研究機関・企業が集まり、科学技術の活用により継続的にイノベーションを創出する地域を目指す。このために、地域内の多様なコーディネータ人材がチームとして組織的なコーディネート力を発揮できるような体制の整備に取り組み、グリーン分野、ライフ分野等異分野融合も図れるイノベーション創出のための新たなシステムを作り上げる。

## 事業の内容

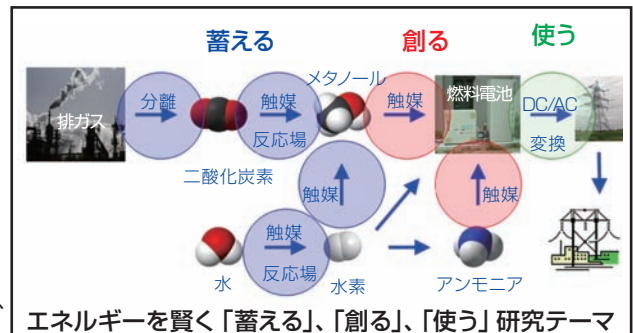
### 1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：京都大学、京都工芸繊維大学、同志社大学）

エネルギーの安全保障、環境保全、経済効率を鼎立させる研究開発のテーマ「京都次世代エネルギーシステム創造戦略」に基づき、エネルギーを賢く「蓄える」、「創る」、「使う」という3つの観点で研究開発を進め、エネルギー問題の解決に取り組む。

「蓄える」(化学の力によりエネルギーを蓄える)では、CO<sub>2</sub>還元によりメタノールをエネルギー源として利用する技術に係る研究開発等、革新的なエネルギー資源分野に取り組み、事業化につながる研究成果を創出することを目指す。

「創る」(エネルギーを創る)では、燃料電池や蓄電池等の材料開発など、次世代の原子力代替エネルギーへつながる新エネルギー分野における発電技術の高度化等に取り組む。

「使う」(節電：限りあるエネルギーを高効率に使う)では、高度DC/AC給電システムの開発に取り組み、省エネルギー分野の事業期間内での新たな製品化・事業化を目標とした研究開発に取り組む。



### 2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：京都高度技術研究所）

産学連携事業の推進に当たっては、コーディネータ人材がその中心的役割を担っているが、従来、コーディネータの活動は、個人のもつ知識や経験に大きく依存しているのが実情であり、研究開発から事業化までのプロセスにおいて必要となる能力とミッションを見極め、能力向上を図る人材育成プログラムを開発する。

### 3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：京都高度技術研究所）

事業の推進に当たっては、7名の地域連携コーディネータをそれぞれ得意とする活動範囲を見極め、組織的な活動を行う仕組みの下で配置し、研究開発推進のコアとなる各大学の招へい研究者の研究テーマに沿って関連企業の参画の下、研究成果の実用化に向けたプロジェクト形成を強力に推進する。

